

2016 年度

第13回さがの映像祭

手話は言語～デフムービーって何だろう～

プログラム

	ハーディーホール 司会：山本真記子 (目で聴くテレビ手話キャスター)	クローバー ホール	会議室	ロビー
1/28 (土)	13:00～14:30 開会あいさつ 応募作品上映 A			展示 ・ 販売 ↓
	14:40～16:35 映画 「Start Line」上映	14:40～16:20 応募作品上映 B		
	16:50～18:00 劇 「昨日・今日・明日」		16:45～18:00 ワークショップ1 「本当の壁は誰が作って いるのだろう」今村彩子監督	
1/29 (日)	10:00～12:00 応募作品上映 B			展示 ・ 販売 ↓
	昼休み	12:10～13:20 応募作品上映 A	11:00～12:30 ワークショップ2 「深川監督のろう映画」 大館信広監督	
	13:00～15:00 映画 「函館珈琲」 上映&トーク	13:30「会場特別賞」 投票締め切り	13:30～14:45 ワークショップ3 「応募作品を見て ～意見交換をしよう～」 金山智子氏	
	15:10～16:00 審査発表・表彰式・講評			

会 場 同志社大学寒梅館ハーディーホール

- 主 催 同志社大学ソーシャル・ウェルネス研究センター
第13回さがの映像祭 実行委員会
- 協 賛 社会福祉法人全国手話研修センター
認定NPO法人CS 障害者放送統一機構
- 特別協賛 公益財団法人京遊連社会福祉基金
- 後 援 京都市 一般財団法人全日本ろうあ連盟

■お願い■

ホール内食事禁止
(ロビーでは飲食可)

**再入場時にはチケットの半券を
受付で見せてください。**

ご協力をお願いします

ようこそ第13回さがの映像祭へ！

ごあいさつ

第13回さがの映像祭実行委員会
委員長 高田英一

第13回さがの映像祭へようこそお越しいただきました。

この映像祭は、主に聴覚障害者が制作した映像を公募・紹介することで、聴覚障害者の放送・映像活動を推進し、メディア社会への平等参加を図り、共に生きる社会の実現をめざしています。

手話の研究、普及等の事業を実施する社会福祉法人全国手話研修センターが、2004年より手話や字幕付き番組を制作・放送している認定NPO法人CS障害者放送統一機構及び映像関係者と協力してこの映像祭を開催してきました。

参加者のみなさまとともに「聴覚障害者にとっての映像文化とは何か」を考えながら、手話や聴覚障害者に関わる映像表現の質を高め、さらに多くの方に「デフムービー」に親しんでいただくことで、聴覚障害者だけでなく広く聞こえる方々との交流と相互理解を深めたいと思っています。

映像祭では最前線で活躍されている国内外のろう映像作家を紹介し、日本のろう映画の歴史を振り返るなど幅広い映像活動も紹介します。さらに全国のろう学校・特別支援学校、聴覚障害者情報提供施設等にも映像祭の作品コンクールへの参加を促し、後継者の発掘もめざします。

最後に本映像祭開催にあたり、多大なるご理解、ご支援をいただきました同志社大学、公益財団法人京遊連社会福祉基金のみなさまに心からお礼を申し上げます。

それでは作品コンクール、映画上映、ワークショップなどを、聴覚障害の有無に関係なくどうぞお楽しみください！

第13回映像作品コンクール◆審査員の紹介（敬称略、五十音順）

池田 和生（元KBS 京都放送ディレクター）

井上 泰治（映画監督、主な作品に「水戸黄門」「球形の荒野」「戦国の勝者」ほか）

今村 彩子（映画監督、Stadio AYA 代表）

大館 信広（映画監督、デフムービーエンターテインメントプロディア代表）

金山 智子（岐阜県立情報科学芸術大学院大学教授、同大学産業文化研究センター長）

高田 英一（認定NPO法人CS 障害者放送統一機構理事長）

津田 正夫（元立命館大学教授、元NHK チーフプロデューサー）

早瀬 憲太郎（映画「ゆずり葉」、「生命のことづけ」監督）

横地 由起子（京都シネマ支配人）

2017

1/28
[土]

ハーディーホール上映 13:00~14:30

映像作品コンクール応募作品上映 **Aグループ**

★作品の詳細(紹介)はプログラムの応募作品リストをごらんください。

★14:40~ クローバーホールではBグループを上映いたします。

<ハーディーホール>

- 13:10 1. 一期一会/松谷琢也(奈良県)
- 13:28 2. でんしゃ見見録~めでたいでんしゃ~/和歌山県聴覚障害者情報センター
- 13:40 3. バカイケメンIV/群馬県立聾学校高等部2学年
- 13:44 4. ある聾学校の1日/群馬県立聾学校高等部3学年
- 14:00 5. 父/今井彰人(東京都)
- 14:22 6. 大阪手話言語ニュース「手話は言語」/大阪聴力障害者協会

※上映予定時刻です。当日の状況により前後する場合があります。

ハーディーホール上映 14:40~16:35

スタートライン

Start Line

今村彩子ドキュメンタリー最新作



めざすのはゴール? それとも…

生まれつき耳が聞こえず、健聴者とのコミュニケーションに壁を感じてきた今村監督。そんな彼女が、2015年夏、自転車で沖縄→北海道日本縦断の旅に出る。自身を被写体に、体当たりでロードムービー『Start Line』を撮るために。出発早々の荒天、失敗に次ぐ失敗、「聞こえる人」とのコミュニケーションのつまずきに、ヘコみ、涙し、それでもひたすら最北端の地に向けて走り続ける57日間。そんな彼女のむきだしの姿を追うのは、伴走者にして撮影を担う“哲さん”。「コミュニケーションを、あなた自身が切っている!」相手を想うがゆえの容赦のない言葉に、一触即発の危機が何度も訪れる。そして、旅の終盤、難聴のオーストラリア人サイクリスト、ウィルとの奇跡的な出会い「ピープル インサイド オナジ」——彼女はどんな答えを見つけるのか? 人生の旅そのものの、3,824km。ニッポン中のためらう人に観てほしい、一篇の勇気のおすそわけです。(2016年/112分)

ワークショップ1 地下A会議室 16:45~18:00 (入場:16:30~)

※定員35名。ロビーにて申込受付中

「本当の『壁』は誰が作っているのだろう?

~『Start Line』制作を通して考えたこと~」

講師:今村彩子監督 進行:高山正紀氏(京都府聴覚障害者協会 副会長)

いまむらあやこ:愛知県立豊橋聾学校高等部、愛知教育大学教育学部卒業。カリフォルニア州立大学ノースリッジ校留学(映画学科・アメリカ手話・アメリカろう文化を学ぶ)。豊橋聾学校講師を経て、現在名古屋学院大学と愛知学院大学非常勤講師。自主上映や講演活動も精力的にこなしている。



ハーディーホール上演 16:50~18:00

劇団あしたの会

「昨日・今日・明日」

あらすじ 時代は 2030 年、手話言語法制定から十数年後。2人のろう者が手話言語法ができてからの変化について話していると「歴史じいさん」と名乗る老人がやってきて、ろう者が苦しみ戦った過去のことについて話し出す……。



劇団あしたの会：1996年、京都にて「あしたを拓く」旗揚げ公演。「松本荘の人たち」「ふたつの青空」「そして祈りへ」等公演多数。

2017

1/29
[日]

ハーディーホール上映 10:00~12:00

映像作品コンクール応募作品上映 **Bグループ**

★作品の詳細(紹介)はプログラムの応募作品リストをごらんください。

★12:10~クローバーホールではAグループを上映いたします。

<ハーディーホール>

10:00 7. 紙風船~東田先生の日曜日~/聾宝手話映画(京都府)

10:25 8. インクルーシブなまちづくりの拠点へ~未来の可能性を信じて~

/兵庫県立聴覚障害者情報センター

10:37 9. 情けないラーメン屋の主人/山本博一(神奈川県)

10:43 10. 夏原さんのひょうたん/滋賀県立聴覚障害者センター

11:05 11. ニート老人9999/どろみとパンちゃんマン(大阪府)

11:09 12. 琉球聾太鼓~聴覚障がい者の活動~/小渡佑希子・長田敦希(沖縄県)

11:28 13. パラトライアスリート 中田鈴子選手

/京都市聴覚言語障害センター・京都府聴覚言語障害センター 番組チーム

11:45 14. 私の大切な孤独/伊藤徹也(大阪府)

※上映予定時刻です。当日の状況により前後する場合があります。

ワークショップ2

地下A会議室 11:00~12:30 (入場:10:45~)



深川監督(右)と高正次氏
提供: 睦聾唾映画保存会

「深川勝三監督のろう映画」

※定員 35名。ロビーにて申込受付中

講師: 大館信広監督(デフムービーエンターテインメントプロディア代表)

進行: 高山正紀氏(京都府聴覚障害者協会副会長)

さがの映像祭では、2014年度より40歳以下の聴覚障害者に贈る「深川勝三・睦聾唾映画保存会」を設けました(賞の提供: 睦聾唾映画保存会)。昭和の時代につくられた深川監督映画作品のダイジェスト版上映や当時の映画作りの話などを通して、深川監督を知りましょう!ロビーには深川監督関連展示もあります。

ハーディーホール上映 13:00~15:00

函館珈琲 HAKODATE Coffee

ひとりぼっちの季節… この街でやさしい時間に出会った――



©HAKODATEproject2016

函館の街にひっそりと佇む古い西洋風アパート翡翠館。装飾ガラス職人を目指す堀池一子。ティンペアアーティスト相澤幸太郎。ピンホールカメラ専門の写真家藤村佐和。夏のある日、やってきた小説家志望の松山英二。翡翠館に集う若者たちの出会いと葛藤を描き出す。(2016/90分)



脚本・字幕データ制作

いとう菜のは氏

上映終了後にいとう氏のトークがあります！

聞き手：横地由起子氏
(京都シネマ支配人)



深川勝三・睦賞

ハーディーホール 15:10~16:00

映像作品コンクール審査発表、表彰式、講評

大賞、優秀賞、奨励賞、学生部門奨励賞、深川勝三・睦賞、会場特別賞を発表します！

■アンケートにご協力ください■

さかの映像祭はいかがでしたか？

より充実した映像祭を目指して、今後の参考にさせていただきます。

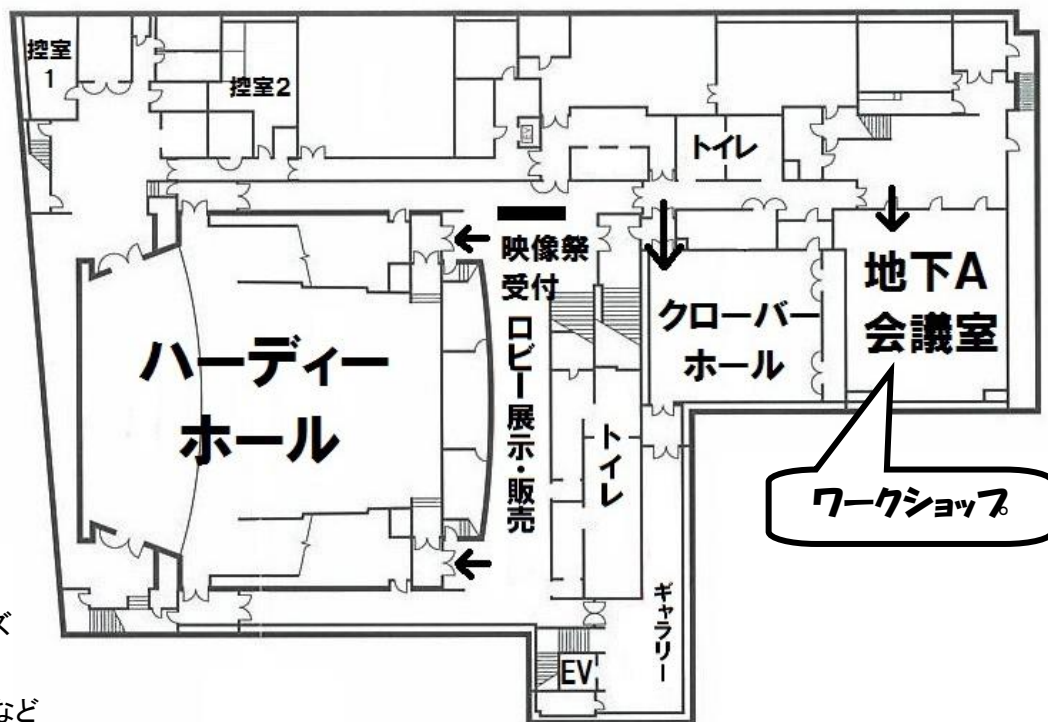
会場案内

●展示

- ・深川勝三監督関連展示
- ・大館信広監督展示
- ・龔宝手話映画展示
- ・過去の映像祭展示 など

●販売

- ・今井彰人監督作品DVD
- ・津田正夫氏書籍
- ・今村彩子監督作品DVD
- ・大館信広監督作品DVD
- ・「函館珈琲」パンフレット
- ・「Start Line」パンフレット・グッズ
- ・劇団あしたの会 DVD
- ・「目で聴くテレビ」関連販売 など



第13回映像作品コンクール 応募作品リスト

A

ハーティーホール 1月28日(土) 1:00~2:30 上映

クローバーホール 1月29日(日) 12:10~1:20 上映

1 「一期一会」^{まつたにたくや}…松谷琢也(奈良県) (17分34秒/2016年)



■編集ソフト:Movie Studio Platinum
■撮影機材:Panasonic ■音声:あり

- 作品のテーマ 一期一会
- 作品の内容 突然現れた不良。しかも手話を知っている不良……。不良はろうの彼女と付き合っていたが、ある日彼女はいなくなってしまう。再会を果たすが、彼女は……。
- 監督プロフィール 1975年奈良県生まれ。1993年奈良県立ろう学校卒業。1995年筑波大学付属聾学校デザイン科卒業。1990年「毎日中学生新聞」でマンガデビュー。現在はwebでてるコミック「聾デフ」を連載中。
- コメント 映画は12作目になりました。不良が恋愛をし、手話を覚えていたらおもしろい作品になるだろうと思い、「一期一会」をつくりました。

2 「でんしゃ見見録～めでたいでんしゃ～」^{けんけんろく}…和歌山県聴覚障害者情報センター(10分2秒/2016年)



■編集ソフト:カノープス EDIUS Pro5
■撮影機材:Panasonic AG-HMC155 ■音声:あり

- 作品のテーマ 「めでたいでんしゃ」の紹介
- 作品の内容 2016年4月にデビューした和歌山市～加太間を走る南海電鉄のニューフェイス「めでたいでんしゃ」は加太の桜鯛をモチーフにしたピンクの可愛い電車であちこちに「鯛」や「ハート」が散りばめられています。ほっこりして愛らしさいっぱい「めでたいでんしゃ」に乗って「めでたい」何かを見つけにレッツゴー♪
- コメント 制作しているうちに、「めでたい」ことは隠れていたりして自分で探したり、行動を起こさないとやってこないことを「めでたいでんしゃ」に教えられたように感じてあのエンディングになりました。

3 「バカイケメンIV」…群馬県立聾学校 高等部2学年(3分23秒/2016年)



■編集ソフト:Fujitsu E.SPRIMO
■撮影機材:ASUS Tablet ■音声:なし

- 作品のテーマ 高等部の男子4人がおもしろいことを考えた。
- 作品の内容 3分ぐらいで色々な動画を作りました。オリンピックの話をしたあと、CMを入れて、中継でオリンピックのインタビュー(水泳競技場)があり、最後にご飯を食べに行く劇。お店に行くためにジャンプして移動する。短い時間で分かりやすいように作っています。
- プロフィール 古田勇生ほか3名 僕は耳が聞こえません。私たちは分かりやすいように工夫して、映像を創りました。
- コメント 短い時間で色々な映像がとてもおもしろいと思います。一生懸命、作っていたので、ぜひ、見て楽しくなれるようでしたらうれしいと思います。

4 「ある聾学校の1日」…群馬県立聾学校 高等部3学年(3分54秒/2016年)



■編集ソフト:Microsoft ムービーメーカー・ink
■撮影機材:NEC Lavie Tab W ■音声:あり

- 作品のテーマ 高校生の1日
- 作品の内容 群馬県立聾学校の生活や1人1人の面白さを表現しています。学校での「あるある」で皆の個性が光っています。自分たちのありのままの姿で、演技をしました。ぜひその映像を楽しんで下さい。
- プロフィール 高畑葵(生徒会長)ほか4名 人を笑わせたりおもしろいノリにうまく乗っています。そして、ツッコミのウケがとても良いと思っています。
- コメント 1つ1つのシーンを見て、映像を楽しんで下さい。

5 「父」^{いまいあきと}…今井彰人(東京都) (20分/2015年)



■編集ソフト:Final Cut Pro
■撮影機材:Canon EOS5D Mark III ■音声:なし

- 作品のテーマ ヒューマン(父と息子の関係が描かれた物語)
- 作品の内容 息子が公演の本番を控えている中、介護施設の職員からメールが来た。「最近、お父様が出外したかっています。1日だけでもよいので、どこかへ連れてあげて下さい。」父が認知症を患ってから、距離を置いているのに関わらず、だ。そこで父の信じられない行動を目撃してしまう。父と息子の関係が描かれた物語。
- 監督プロフィール 2014年「黒手紙」制作
- コメント 今、社会的問題の一つとしてテーマを作りました。「父」とは何か、あらためて考えなおしてみませんか？

第13回映像作品コンクール 応募作品リスト(つづき)

6 「大阪手話言語ニュース『手話は言語』」…公益社団法人大阪聴力障害者協会 (6分15秒/2016年)



■編集ソフト: Grass Valley EDIUS Pro5.5
■撮影機材: HDR-CX560V・FDR-AX40 ■音声: なし

●作品のテーマ 手話言語の法制化への願い

●作品の内容 「手話は言語である」ことから、かつて自由に手話を使えなかった時代のことや法制化に向けての期待など、大阪における取り組みをまとめました。

B

ハーティーホール

1月29日(日) 10:00~12:00 上映

クローバーホール

1月28日(土) 2:40~4:20 上映

7 「紙風船～東田先生の日曜日」…聾宝手話映画(京都府) (19分31秒/2016年)



■編集ソフト: コーレルビデオスタジオ 12
■撮影機材: Sony HDR-AX2000 ■音声: あり

●作品のテーマ 夫婦の何気ない会話に、心のすれ違いが見え隠れし、その溝をうめようとする共同作業あるいは可能性について

●作品の内容 晴れたある日曜の午後。聾学校の東田先生は、生徒会が発行した古都新聞を読んでいる。妻はその隣で編み物をしている。日曜日の過ごし方について相談する。夫婦の何気ない会話に向かった先は…。

●監督プロフィール 谷進一 さがの映像祭7回参加(2008年「手話刑事」～2016年「ふれる」制作)

●コメント 1925(大正14年)『文芸春秋』5月号に発表した岸田國士(きしだくにお)の一幕戯曲を原作にしました。特に事件がおきる訳ではなく、日常の夫婦の会話がつづきます。いつもは何か事件が発生したり聴覚障害の問題を描いてきましたが、日常をスケッチした作品を映像化してみました。ふたりの距離感の変化などが伝わればと思います。

8 「インクルーシブなまちづくりの拠点へ～未来の可能性を信じて～」

…兵庫県立聴覚障害者情報センター (10分08秒/2015年)



■編集ソフト: エディウス 5.5
■撮影機材: パナソニック 155 ■音声: あり

●作品の内容 日本財団の助成を受け実施された「生活ニーズ実態調査」の結果をまとめたDVDを作成しました。そのDVDの一部、淡路島の取り組み事例を紹介し、支援拠点の必要性、また理想とする社会は何か、橋詰さんを中心にまとめています。

●監督プロフィール 吉村真紀 兵庫県聴覚障害者情報センター職員 制作歴9年程度

●コメント 調査と並行しながらの取材、編集のため様々な面で非常に苦労した作品ですが、当事者や家族、支援者等の想い、願いがたくさん詰まった映像だと感じています。DVDの一部ではありますが、映像祭で多くの方に見て頂き、一緒に考えるきっかけになることを願って提出します。

9 「情けないラーメン屋の主人」…山本博一(神奈川県) (3分47秒/2016年)



■編集ソフト: Adobe CS6 ■音声: なし
■撮影機材: Panasonic AG-AF105

●作品のテーマ 情けない主人

●作品の内容 ラーメン店が閉店後に、やくざ風のお客さんが現れた。店主がそのお客さんを見て恐怖心が高まり「閉店」と言えなくなってしまってラーメンを作り出す。勘定を払うどころか、食い逃げするお客さんに予想外の展開が……。しまいには店主が情けない。

●監督プロフィール 私はサラリーマンですが、土曜日曜に撮影活動をしています。撮影内容はデフの Comedy 系短編が多いです。制作歴は2年目ですが、動画を通じてたくさんの人に笑ってもらえるように頑張ります。

●コメント お客さんが悪いかと思われるが、しまいには店主が情けないっていうおもしろいストーリーだと思えます。

10 「夏原さんのひょうたん」…滋賀県立聴覚障害者センター (10分3秒/2015年)



■編集ソフト: EDIUS
■撮影機材: Panasonic AGHMC155 ■音声: あり

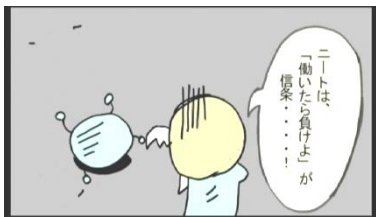
●作品のテーマ ひょうたんでつながる夏原さんのおもい

●作品の内容 (一社)滋賀県ろうあ協会や地元などで聴覚障害者の社会参加へご尽力されている夏原さん。夏原さんは誰かに会うたびにひょうたんを渡しています。そのひょうたんはすべて夏原さんの手作り。1年を通して制作させて頂きました。夏原さんのひょうたんに対する思いとは……。

●コメント 夏原さんに感謝致します。

第13回映像作品コンクール 応募作品リスト(つづき)

11 「ニート老人9999」…どろみとパンちゃんマン(大阪府)(2分33秒/2016年)



■編集ソフト:アドビプレミア 110
■音声:なし

- 作品のテーマ ニートと生活保護の問題について
- 作品の内容 ニートや、生活保護を受ける人が、人として悪いようにいわれていますが、本当にそうでしょうか。ニートは、国の政策による失敗が原因の面がかなりあります(本人の資質もありますが……)。このまま続ければ、世代によってはニートだらけの老人になってしまう可能性が本当にあります。そこでマンガチックにかいてみました。
- 監督プロフィール 東住吉区のろう者の手話シリーズなど。
- コメント やっつけてしてしまったので、編集がざつですみません…。また次があれば時間をしっかりかけます。

12 「琉球豊太鼓～聴覚障がい者の活動～」…^{ながたあつき おどゆきこ}長田敦希・小渡佑希子(沖縄大学)(17分48秒/2016年)



■編集ソフト: Apple Final Cut ProX
■撮影機材: JVC GZ 765-V ■音声:あり

- 作品のテーマ 県内に聴覚障害者が活動していることを多くの人々に知ってもらいたい
- 作品の内容 琉球太鼓は、中学生からシニアのメンバーで、週一回成田山神社で太鼓の練習をしています。健聴者の太鼓グループと違って、空気や床の振動を感じて、リズムを合わせています。手話や身振りでコミュニケーションを取りながら、太鼓をたたくその姿はとても魅力的です。
- 監督プロフィール 長田敦希・小渡佑希子:聴覚障害を持っています。去年は聴覚障害の中高校生たちをテーマに制作。今年はその中高生やシニアを含めた聴覚障害の人たちの頑張りをテーマにしました。

13 「パラトライアスリート 中田鈴子選手」…^{いとうてつや}京都市聴覚言語障害センター・京都府聴覚言語障害センター 番組チーム(15分50秒/2016年)



■編集ソフト: Grass valley EDIUS Pro7
■撮影機材: Sony PXM-X200 ■音声:あり

- 作品のテーマ 盲ろうのパラトライアスリート
- 作品の内容 「トライアスロンが一番楽しい!」そう答えたのは、パラトライアスリートとして活躍している中田鈴子さん。視覚と聴覚に障害のある盲ろう者の中田さんが、ガイドと共に練習や大会に挑む姿を追いました。
- プロフィール 番組チームは手話や字幕の映像を制作。また、聴覚障害者や関係者などを対象にセンターHPでの配信やDVDの貸出なども行っています。
- コメント 障害者スポーツの環境はまだ充分ではありませんが、人生を楽しんでいる中田さんの人となり注目です!

14 「私の大切な孤独」…^{いとうてつや}伊藤徹也(大阪府)(14分45秒/2016年)



■編集ソフト: Abode After Effects
■音声:なし

- 作品のテーマ 孤独と個性と幸せの関係
- 作品の内容 孤独でいつも悲しそうな彼女が幸せになれるのは絵を描くときだけだった。そんな彼女の家である日小さな生き物が生まれ、次第に彼女は笑顔を取り戻し始める。そんなある日…。
- 監督プロフィール 趣味で短編の映像作品、四コママンガの製作等を行っています。ホームページで囲碁のマンガも描いています(<http://www.asahi-net.or.jp/~hk6t-itu/igo>)。興味のある方、よかつたら見てみてください…。
- コメント 自分が時々感じる、答えのない疑問を作品にしてみました。台詞を完全になくしたので分かりにくいかもしれませんが、表情や位置関係等に意味を込めて、台詞がなくてもできるだけ分かるように、と考えて制作しました。

応募全作品対象の「会場特別賞」

映像作品を見て投票しよう!

1月29日(日)13:30までに、ロビーの投票箱に投票してください。

1月29日(日)15:10からの表彰式で結果を発表します!!



●参加しませんか? ※定員35名。ロビーにて申込受付中

ワークショップ3 1/29(日)13:30~14:45

「応募作品を見て～意見交換をしよう～」

地下A会議室

講師: 金山智子氏

(岐阜県立情報科学芸術大学院大学教授)

進行: 柳喜代子氏

(CS 障害者放送統一機構「目で聴くテレビ」ディレクター)

◆応募作品の制作者も多数参加されます。◆

映像作品を見た感想や質問など話し合しましょう!